



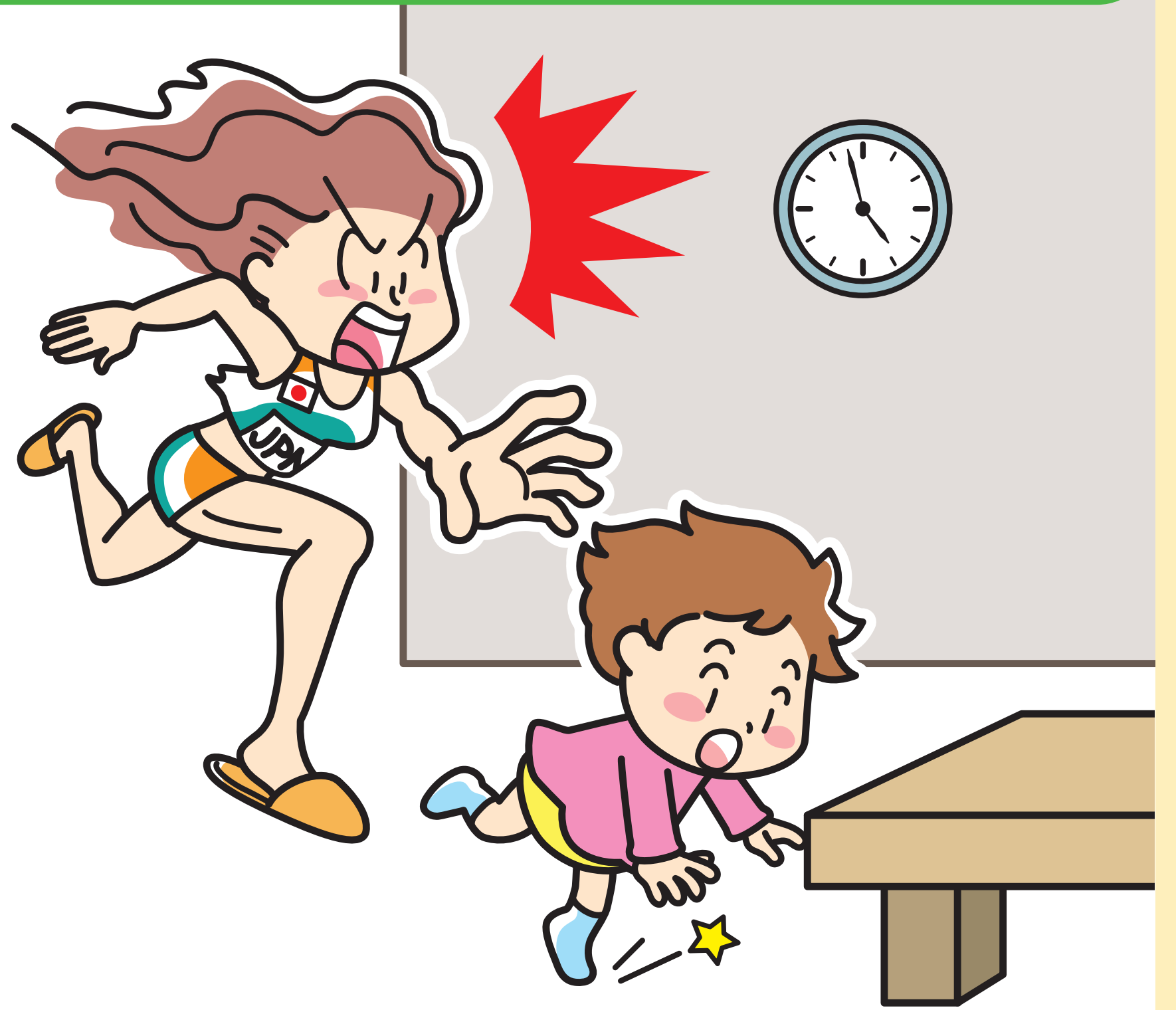
# 事故予防の重要性

## 見守りだけで事故を予防することは困難

**24時間子供から目を離さないことは不可能です。**

**また、見守りを行っていても、事故を完全に防ぐことは困難です。**

例えば、となりの部屋にいる子供が  
つまずいて転びそうになった時、かけよって  
支えようとする、陸上世界記録より  
早く走らなければなりません。



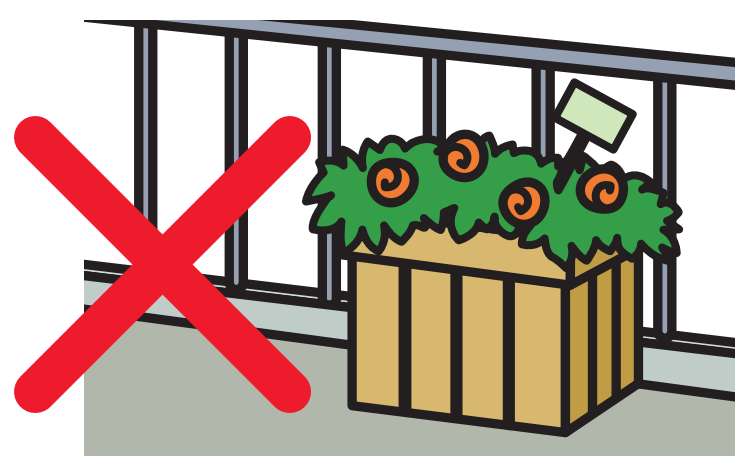
子供の転倒時間<sup>®</sup>の平均は0.5秒です。視覚からの情報で行動による反応を起こす時、人間の視覚の平均的な反応時間は0.2秒であることを考えると、見守りで子供の転倒事故を防ぐためには、子供が転倒しはじめてから0.5秒-0.2秒=0.3秒で子供に到達する必要があります。もし子供から4mの距離で見えていたとしたら、 $4m \div 0.3秒 \approx 13.3m/秒$ で、100m走とすると $100m \div 13.3m/秒 \approx 7.5秒$ と、陸上世界記録の9秒台よりも早く動く必要があります。 ※転倒時間：転びはしめから転び終わりまでの時間

参考文献: Hiroyuki Kakara, Yoshifumi Nishida, Sang Min Yoon, Yusuke Miyazaki, Yoshinori Koizumi, Hiroshi Mizoguchi, Tatsuhiro Yamanaka, "Development of Childhood Fall Motion Database and Browser Based on Behavior Measurements," Accident Analysis & Prevention, Volume 59, Pages 432-442, 2013

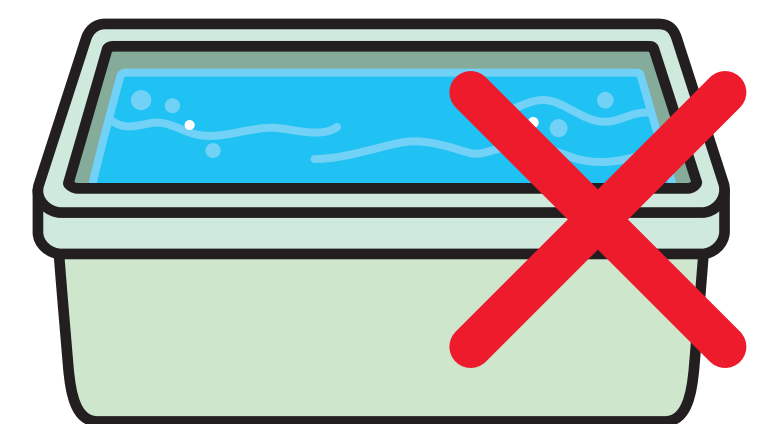
## 事故予防とは、変えられるものを見つけ、変えること

### 危険なものを排除する

ベランダに足がかりになるものを置かない。

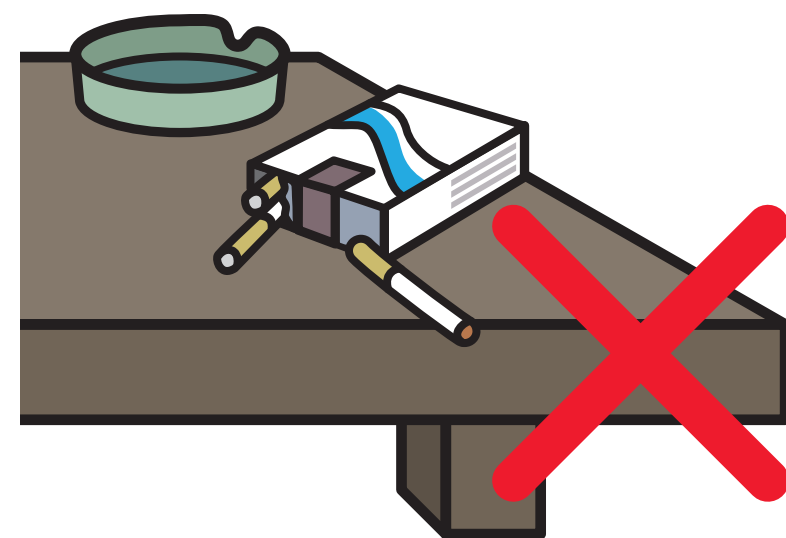


浴槽にお湯を残さない。

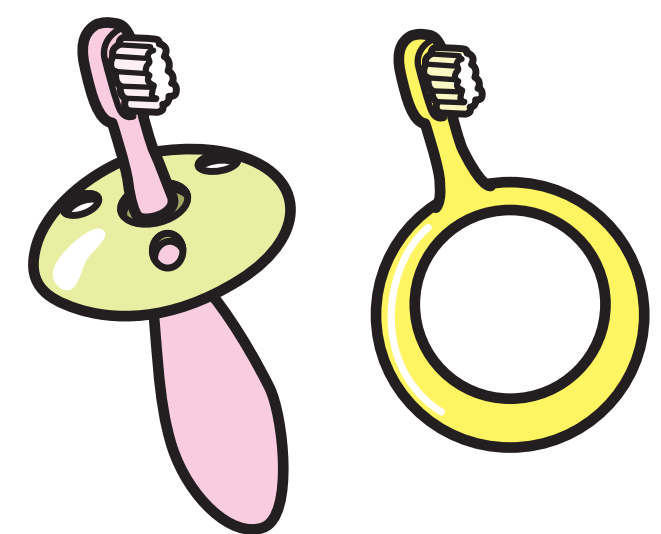


### 危険が起きないようにする

タバコや薬を子供の手の届くところに置かない。



口に入れたときに喉を突かない歯ブラシを選ぶ。



### 危険発生時のダメージを減らす

自転車に乗せるときはヘルメットを着用する。



遊ぶ場所の床材をクッション性の高い材質にする。

